

広報たしる

No. 269

昭和50年12月号

田代町企画室編集

1,600部発行



炭焼き

かつて木炭は町の林産物の主位を占めていた。

だが、山村まで押し寄せたエネルギー革命は、山村から炭焼きの仕事を奪った。

ここから過疎が始まった。今は、僅かに家庭用の炭焼きが行われているに過ぎない。

晩秋の或日……

珍しく炭焼きの白い煙が立ちのぼっていた。冬の訪れを知らせる前触れのように……

十二月のこよみ

10日(木) 婦人会長会

11日(木) 地域振興審議会・大隅開発推進期成会

12日(金) 民生委員会

18日(木) 小組合長会

19日(金) 金融協議会・教育委員会・社会教育委員会

一月一日(木) 大隅中部火葬場休日

一月三日(土) 町成人式・午後一時 (田代小屋体)

町成人式 (田代小体育館)

一月三日 午後一時

昭和50年度上半期財政事情 及び49年度決算のあらまし...

- 一般会計の九月現計予算額は当初予算額五九六、九九七千円に二六、九〇二千円を加えた六二二、八九九千円です。九月定例議会において予算措置したおまな事業は次のとおりです。
- 開発先進地視察関係旅費 九七九千円
- 校長住宅敷購入費二〇〇〇〇
- 農業振興費 一、四〇〇〇
- 農業振興費 一、一三四〇
- 農地費（主に農道） 一八、六三四〇
- 県単舗装負担費 六八〇〇
- 町道砂利散布二、〇〇〇〇
- 公園費（花瀬公園整備） 七四〇〇
- 消防費（川原消防車庫、詰所等） 五、四五九〇

(一) 予算規模

一般会計

昭和五十年度の当初予算の編成状況については、本紙四月号で詳細を説明しましたので、今回は、その後の予算の補正状況を中心として、昭和五十年四月一日から九月三十日までの上半期の財政運営状況をお知らせします。五十年度は当初予算編成後、九月定例議会において補助事業費を中心に予算編成を行いました。

第一表 歳入予算の執行状況

区分	予算額 千円	構成比 %	収入済額 千円	収入割合 %
町 税	44,186	7.1	24,481	55.4
地方譲与税	2,800	0.4	1,545	55.2
自動車取得税交付金	2,700	0.4	1,964	72.7
地方交付税	31,620	50.7	23,115	73.1
分担金及び負担金	2,921	0.5	1,297	44.4
使用料及び手数料	2,509	0.4	1,258	50.1
国庫支出金	4,049	6.5	18,172	44.9
県支出金	10,330	16.6	4,907	4.8
財産収入	2,084	3.2	3,280	16.3
繰越金	18,067	2.9	3,582	19.8
雑収入	1,836	0.3	1,559	84.9
町の他	6,880	11.0		
その他	3			
計	62,389	100.0	32,542	52.2

第二図 歳出予算の執行状況

区分	予算額 千円	構成比 %	収入済額 千円	収入割合 %
議会費	23,969	3.8	11,255	47.0
総務費	11,049	17.7	4,683	42.4
民生費	7,083	11.4	2,741	38.7
衛生費	2,410	3.9	8,013	33.2
農林業費	18,146	29.1	2,085	11.5
商工水産費	1,780	0.3	530	29.8
土木費	9,512	16.0	2,101	21.1
消防費	18,103	2.9	1,753	9.7
教育費	5,515	8.8	2,111	38.3
災害復旧費	4,490	0.7	49	1.1
公債費	3,199	5.1	14,788	46.2
予備費	2,000	0.3		
計	62,389	100.0	17,363	27.8

(二) 予算の執行状況

九月末の予算の執行状況は、第一図、二図のとおりです。歳

(一) 概要

四十九年度決算

入は収入済額三二五、四四二千円で収入率五二、二％、歳出は支出済額一七三、六三三千円で支出率二七、八％となっております。

これらの目標を達成するため、予算措置がなされたのですが、四十九年度の当初予算は、町長選挙の前であったことから「骨格予算」として編成されましたので、おまな政策的な経費は九月補正予算で八七、九五三千円計上され、最終的には五一、五二〇千円の予算規模となりました。

(二) 決算収支の状況
(三) 歳入の状況
(四) 歳出の状況
次に決算額を性質別にみると（四頁につづく）

昭和50年度国勢調査結果

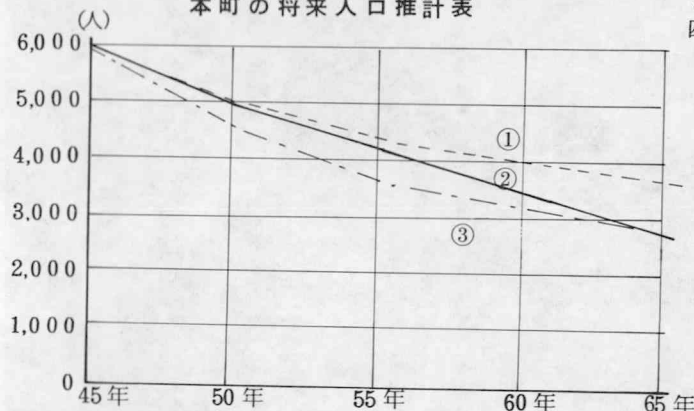
	人 口			世帯数	1世帯当 口
	計	男	女		
45年①	5,602	2,629	2,973	1,533	3.7
50年②	4,919	2,276	2,643	1,461	3.4
比較③-①	△683	△353	△330	△72	△0.3
増減率%	△12.2	△13.4	△11.0	△4.7	

(注) この数は概数で確定ではありません

本町の将来人口推計

区分	年度	45年	50年	55年	60年	65年
①		5,602	5,000	4,400	3,900	3,500
②		5,602	4,900	4,100	3,300	2,500
③		5,602	4,600	3,800	3,200	2,600

本町の将来人口推計表



先ほど五〇年の国勢調査による各市町村の人口概数が発表されました。それによると本町の人口は、四十五年の国勢調査より六八三人減少して、四、九一九人となっています。五年間に一二・二％減少したことになり

四十年から四十五年の五年間の減少率一七・五％に比べると減少率は幾分少なくなっています。世帯数は一、四六一世帯で、人口に比べて減少率は少く、四・七％の減に止まっています。また、一世帯当りの人口も三・四

人となり核家族化の傾向が強まっています。将来の本町の人口予測については、先般本紙で紹介しましたが、三通りの推計方式の内、一つが五〇年度の人口は四九〇〇人となっており、今回の概数と一致しています。この方式によって、本町の将来人口をみると、昭和六十年には三千三百人に減少し、六十五年には二千五百人に減少すると予想されます。

本町の人口は四、九一九人

昭和50年国勢調査結果

いよいよ今月が最後のチャンス!!

国民年金の未納保険料

でもらってください。

いよいよ特例納付の締切日が十二月三十一日に迫りました。国民年金の保険料は、自分自身で納めたと思っても、案外納め忘れがあるものです。今月中に、一日も早く役場の年金係へ、あなたの国民年金手帳の記号番号を言って、あなたの保険料の納め具合を点検してもらってください。



原順氏・県監査委員に

原順氏は、十月十一日、学識経験者として、県監査委員に任命されました。今後の活躍を期待します。

待してお
喜びを申
し上げま
す。

慶祝電報は早目に

大安日の結婚式や成人式、卒業、入学式などにお祝いの電報を発信される方が最近多くなっています。このため電報電話局の「一一五」(託送受付)は、当日大変混み合います。うっかり忘れていたため、式が始まる直前に発信され、配達を心配されています。

配されるお客さんにもありますが、こんなことがないよう電報電話局では、配達日の十日前から発信できる予約受付(配達日時指定)の取扱いを実施しています。きれいな用紙で配達されるお祝い電報は早目に、予約受付をご利用ください。

1、公有財産

(1) 土地及び建物

財産に関する調査

※町有財産の状況

		土地（地積）			建物	
		前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高
本庁舎		4,349	0	4,349	942	0
行政機関		409	0	409		
その他						
公共用財産	学 校	86,300	5	86,305	2,002	△ 20
	公 営 住 宅	16,289	2,797	19,086	1,433	0
	公 園	20,842	15,757	36,599		
	その他の施設	50,205	21	50,226	682	0
山林		4,332,953	△6,902	4,326,051		
合 計		4,511,347	11,678	4,523,025	5,059	△ 20

建 物						
非木造（延面積）				延 面 積 計		
決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
942	40	0	40	982	0	982
	143	0	143	143	0	143
1,982	8,335	0	8,335	10,337	△ 20	10,317
1,433	764	0	764	2,197	0	2,197
	28	0	28	28	0	28
682	14	0	14	696	0	696
5,039	9,324	0	9,324	14,383	△ 20	14,363

(2) 山 林

土地の権利の区分	面 積			立木の推定蓄積量			備考
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	
所有	433.2	△ 0.60	432.6	45,669	3,324	48,992	
分収（学校）	324.1		324.1	3,474	265	3,739	
〃（一般）	110.94		110.94	4,816	366	5,182	
その他の権限によるもの							
計	576.55	△ 0.60	575.95	53,959	3,954	57,913	

(3) 有価証券

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
南日本放送株券	300,000	0	300,000
南九州畜産興業株券	68,000	0	68,000
計	368,000	0	368,000

(4) 出資による権利

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
森林組合出資金	699,300	90,000	789,300
県信用保証協会〃	450,000	100,000	550,000
県農業信用基金協会〃	562,297	0	562,297
林業開発公社〃	200,000	0	200,000
肉用仔牛価格安定基金〃	370,000	0	370,000
県土地開発公社〃	560,200	0	560,200
県家畜畜産物衛生指導〃	15,000	0	15,000
計	2,856,797	190,000	3,046,797

2、物 品

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
乗 用 車	1		1
ラ イ ト バ ン	1		1
トラック（ダンプ）	1		1
消防ポンプ自動車	4		4
可搬ポンプ運搬車	1		1
マイクロボス	1		1

区 分	決 算 額	構 成 比
地 方 税	4 2 9 6 7	8.1%
地 方 譲 与 税	5,286	1.0
自動車取得税交付金	4,310	0.8
地 方 交 付 税	3 0 4,381	57.3
分担金・負担金	454	0.1
使用料及び手数料	5,113	0.9
国庫支出金	33,207	6.3
県支出金	40,568	7.6
財産収入	4,922	0.9
寄 附 金	686	0.2
繰 越 金	33,971	6.4
諸 収 入	5,671	1.1
地 方 債	49,500	9.3
計	531,036	100.0

(三)歳入の状況

次のとおりです。
（三頁下段より）
人件費は一六七、五四七千円で前年度に比較して四九、九一三千円の増で一九・六％の伸びとなっています。
普通建設事業費は一五四、八五七千円で前年度に比較して五七、七七七千円の減となっています。これは、学校施設関係が四十八年度で一応整備されたため、四十九年度において減となったおもな原因です。

歳入決算額	531,036
歳出決算額	495,208
差 引	35,828
単年度収支	1,857

(二)決算収支の状況

区 分	決 算 額	構 成 比
議 会 費	2 2 0 2 5	4.4%
総 務 費	8 0,040	16.2
民 生 費	5 8,038	11.7
衛 生 費	1 7,488	3.5
農 林 業 費	1 0 0,960	20.4
商 工 費	1 8,781	3.8
土 木 費	9 7,295	19.6
消 防 費	7,724	1.6
教 育 費	6 4,919	13.1
災害復旧費	1,636	0.4
公 債 費	2 6,302	5.3
計	495,208	100.0

(四)歳出の状況

(五)性質別歳出

区 分	決 算 額	構 成 比
人 件 費	1 6 7,547	33.8%
うち職員給	1 1 3,239	22.9
扶 助 費	3 5,593	7.2
公 債 費	2 6,302	5.3
物 件 費	5 0,082	10.1
維持補修費	1,527	0.3
補 助 費	4 2,864	8.7
投資及び出資金	190	
繰 出 金	1 4,610	3.0
普通建設事業費	1 5 4,857	31.3
災害復旧事業費	1,636	0.3
計	495,208	100.0

※町債の状況

区 分	49年度末現在高
一 般 公 共 事 業 債	4,201
一 般 単 独 事 業 債	2 4,401
公 営 住 宅 建 設 事 業 債	2,487
義務教育施設整備事業債	9 0,773
刃 地 対 策 事 業 債	2 0,929
災 害 復 旧 債	1 1,806
市町村民税臨時減税補てん債	20
過 疎 対 策 事 業 債	1 1 7,404
県 貸 付 金	4,396
公 有 林 整 備 事 業 債	5 7,160
計	333,577

(五頁につづく)

(三) 歳出決算の状況

区 分	決 算 額	構 成 比
総 務 費	千円 7,366	% 7.7
保 険 給 付 費	86,722	90.9
保 険 施 設 費	90	0.1
基 金 積 立 金	0	
公 債 費	24	
諸 支 出 金	1,270	1.3
計	95,472	100.0

(二) 歳入決算の状況

区 分	決 算 額	構 成 比
国民健康保険税	千円 24,522	% 24.0
一 部 負 担 金	0	0
使用料及び手数料	7	
国 庫 支 出 金	73,606	71.9
財 産 収 入	10	
繰 入 金	0	0
繰 越 金	3,608	3.5
諸 収 入	590	0.6
計	102,343	100.0

(四) 性質別歳出

区 分	決 算 額	構 成 比
人 件 費	千円 5,775	% 6.1
う ち 職 員 給	5,722	6.0
公 債 費	24	
物 件 費	2,731	2.9
補 助 費	219	0.2
療 養 諸 費	85,940	90.0
高 額 療 養 費	79	0.1
助 産 費	560	0.6
葬 祭 費	144	0.1
計	95,472	100.0

(五) 昭和四十九年度基金保有額は五、二二三千円です。

水道会計

(一) 予算の規模

水道会計は、予算の補正はなく従って上半期においては、当初予算そのままの規模で一〇、八八千円でした。

(二) 予算の執行状況

予算の執行状況は、第1表、2表のとおりです。

第一表 歳入予算の執行状況

区 分	予算額	構成比	収入済額	収入割合
事業収入	千円 8,396	% 77.1	千円 4,481	% 53.4
繰越金	1	0	456	
諸収入	21	0.2	21	100.0
繰入金	2,470	22.7	0	0
計	10,888	100.0	4,958	45.5

第二表 歳出予算の執行状況

区 分	予算額	構成比	歳出済額	支出割合
総務管理費	千円 5,839	% 53.3	千円 2,270	% 38.9
事業管理費	2,352	21.6	967	41.1
建設改良費	160	1.5	0	0
公債費	2,470	22.7	1,090	44.1
予備費	67	0.9	0	0
計	10,888	100.0	4,327	39.7

原ノ後亀助さん
からお願い
西中郡の原ノ後亀助さんは、元来、日記を書いておられますが、戦争の体験や思い出を集めて記録に残したいので、町民に協力方の要望がありました。
右の資料をお持ちの方は、原ノ後さんまでお知らせください。

3. 債 権

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
日 本 消 防 協 会	4,900	△ 4,900	0

4. 基 金

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
財 政 調 整 基 金	13,953,000	0	13,953,000
国民健康保険基金	5,233,000	0	5,233,000
国民健康保険委託金	186,000	0	186,000
公民館建設基金	20,545,000	0	20,545,000
厚生基金	250,000	0	250,000
奨学基金	3,800,000	600,000	4,400,000
国民年金印紙購入基金	1,400,000	800,000	2,200,000
土地開発基金	6,500,000	8,700,000	15,200,000
計	51,867,000	10,100,000	61,967,000

(一) 予算規模

国保会計の九月現計予算額は当初予算額一六、六六七千円に二、一六千円を加えた一八、八二八千円です。九月定例議会において補正したおものは次のとおりです。

○療養給付費 一、三四六千円
○高額療養費 八、一五五千円

(二) 予算の執行状況

九月末の予算の執行状況は、第一表、二表のとおりです。

歳入は収入済額四六、二二三千円で収入率三五・九%

歳出は支出済額四〇、八三三千円で支出率三一・七%となっています。

第一表 歳入予算の執行状況

区 分	予算額	構成比	収入済額	収入割合
国民健康保険税	26,479	20.6	10,674	40.3
一 部 負 担 金	1			
使用料及び手数料	10		1	10.0
国 庫 支 出 金	94,304	73.2	28,435	30.2
財 産 収 入	10		13	130.0
繰 入 金	1,000	0.8		
繰 越 金	6,871	5.3	6,872	100.0
諸 収 入	153	0.1	228	149.0
計	128,828	100.0	46,223	35.9

第二表 歳出予算の執行状況

区 分	予算額	構成比	歳出済額	支出割合
総 務 費	8,445	6.5	2,814	33.3
保 険 給 付 費	118,149	91.7	37,245	31.5
保 険 施 設 費	868	0.7	774	89.2
公 債 費	361	0.3		
諸 支 出 金	5			
予 備 費	1,000	0.8		
計	128,828	100.0	40,833	31.7

(一) 決算収支の状況

歳入決算額	千円 102,343
歳出決算額	95,472
差 引	6,871
単年度収支	4,534

四十九年度決算

(7頁につづく)

四十九年度決算

(一) 概要

四十九年度も拡張工事（早瀬地区）を行ったので、前年度を上回る大きな決算となった。

(三) 歳入決算の状況

区 分	決 算 額	構 成 比
	千円	%
事業収入	9,590	41.86
繰越金	450	1.97
諸収入	57	0.25
繰入金	4,510	19.69
町債	8,300	36.23
計	22,907	100.00

(二) 決算収支状況

歳入決算額	千円 22,907
歳出決算額	22,451
差 引	456
単年度収支	6

四 歳出決算の状況

項 目	決 算 額	構 成 比
	千円	%
総務管理費	4,699	20.93
事業管理費	4,716	21.00
建設改良費	11,196	49.87
公債費	1,840	8.20
計	22,451	100.00

(五) 性質別支出

(資本的支出)

項 目	決算額	構成比	摘 要
	千円	%	
1. 建設改良費	11,353	50.57	早瀬地区拡張工事費等
2. 地方債償還金	660	2.94	起債償還元金
計		53.51	
合 計	22,451	100.00	

(収益的支出)

項 目	決済額	構成比	摘 要
	千円	%	
1. 営業費用	9,205		
ア. 職員給与費	3,610	16.08	
イ. 受託工事費	4,669	20.79	給水工事材料、人夫賃等
ウ. その他	926	4.12	維持関係費用、本営関係修繕費等
2. 営業外費用	1,233		
ア. 支払利息	1,180	5.26	起債の償還利息
イ. その他	53	0.24	
計	10,438	46.49	

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

人口のうごき

11月1日現在

世帯数 1,515戸

男 2,209人

女 2,585人

総 計 4,794人